

笑心の郷 だより

令和2年3月号

〒707-0421
美作市川上30-1
多機能型介護ホームえーる
TEL 78-0555
多機能型介護ホームはーと
TEL 78-0558
デイサービスセンターどりーむ
TEL 78-0557

基本理念：あなたの笑顔と夢を わたしの笑顔と夢で 心を込めて応援します



はーと



2月3・4日、節分行事豆まきを行いました。始めに節分についての由来を勉強した後、節分にまつわる〇×ゲームを行いました。なかなか興味深い問題がたくさんありました。例えば全国のワタナベさんは豆まきをしなくても良いか〇か×か。答えは〇。なんでも平安時代に京都にはびこった鬼を退治したのが源頼光と渡辺綱だったことから、ワタナベ姓の者には手を出すなど言われているそうです。初めて知りました。そして、次に豆運びゲームです。2チームに分かれ右のお皿から左のお皿に大豆に見立てた紙の豆を箸やスプーンで移していくゲームです。豆は20個あり、その中の1つは本物の大豆です。皆さんさすが箸の持ち方はお上手で、豆はスイスイ運ばれていきますが、本物の大豆はつるつるすべって難しいようで、皆さん悪戦苦闘されていました。その後、いよいよ豆まき本番です。どこからともなく賑やかな音とともに鬼が2人登場しました。「鬼は外〜」「福は内〜」の掛け声と共に一斉に豆まきスタートです。豆は新聞紙で作った豆です。なかなか鬼は外に出ていきません。たまに反撃してきます(笑)。鬼も最後には疲れ切ったようでした。利用者の皆さんも楽しかったようで、とても良い笑顔の一日となりました。



二月八日と十日の二日間、えーるで節分祭を行いました。職員が赤鬼と青鬼に扮し、静かなえーるのフロアに金棒を持ち、勢いよく現れました！その鬼に向かい利用者の皆さん全員で「鬼は外！」「福は内！」と元気な声を出しながら豆まきをして厄払いしました。おやつの時間にはシユースで乾杯し、甘納豆とボーロを食べ一年間の無病息災を願いました。次はゲームの時間です。黒豆つまみをしました。時間内に箸で豆をつまんで隣のお皿へ運びます。利用者の皆さんは箸使いがとても上手で、職員もチャレンジしましたが完敗でした。節分祭の最後には鬼と利用者の皆さんで仲良く記念撮影を行い、楽しい節分祭となりました。

十八日には、ボランティアの方三名に来て頂き、手品、腹話術、歌、紙芝居、ボードゲームを披露して頂きました。腹話術の女の子の人形に話しかけられ、皆さんかわいいなあと優しい顔になっていました。

二月八日と十日の二日間、えーるで節分祭を行いました。職員が赤鬼と青鬼に扮し、静かなえーるのフロアに金棒を持ち、勢いよく現れました！その鬼に向かい利用者の皆さん全員で「鬼は外！」「福は内！」と元気な声を出しながら豆まきをして厄払いしました。おやつ



どりーむでは、午後まず体操をして体を動かし気分転換を図ります。この日は、皆さんと一緒に「脳トレ」に挑戦して頂きました。「脳トレ」と言っても色々な種類がありますが、この日は各自で用紙に書かれた文字から野菜の名前を探し出す脳トレです。皆さんひらがなが書かれた用紙を見て、赤鉛筆を持って用紙とにらめっこです。最初は皆さん不安そうでしたが、野菜の名前を探しながら、順番に見つけた野菜の名前を言いながら丸を付ける動作にもすぐ慣れ、表情も一変し集中されていました。いんげん、ねぎ、みずな等難しい答えまで飛び出しました。「そんなの、どこにあるん？」「斜めに見たらあるで。」なるほど見方を変える手段もあり！「よお見つけたなあ。」と笑顔もあり、皆さん楽しんでいました。



どりーむ



二月四、五日にどりーむで「節分祭」を行いました。朝から段ボールで出来た鬼の飾りつけを行い、前々から利用者の皆さんに鬼のお面作りをして色塗りをしていたものをそれぞれ被り「鬼は外、福は内」と言いながら順番に鬼をめぐって球を投げて鬼退治です。皆さん最初のうちは座って球を投げていたのですが、席を立ち、最後

には鬼のすぐそばまで歩み寄るほど夢中で皆さん笑顔で鬼退治ができました。おやつには「恵方巻」もどきの「ミニのホットドッグ」作りをしました。各自でキャベツやソーセージを挟み、ケチャップやマヨネーズで味付けしました。「大きく口を開けんと食べれんな。」と大きな口を開けた顔に笑いもあり、美味しくいただきました。



今月のお食事

今回のメニューは、節分の恵方巻き献立です。巻き寿司、おし寿司、豆腐と野菜のそぼろ炒め、きのこの味噌和えなどです。江戸時代に巻き寿司を切らずに、恵方に向かって食べて縁起をかついだのが始まりだそうです。